

社

第 1 日  
社 会

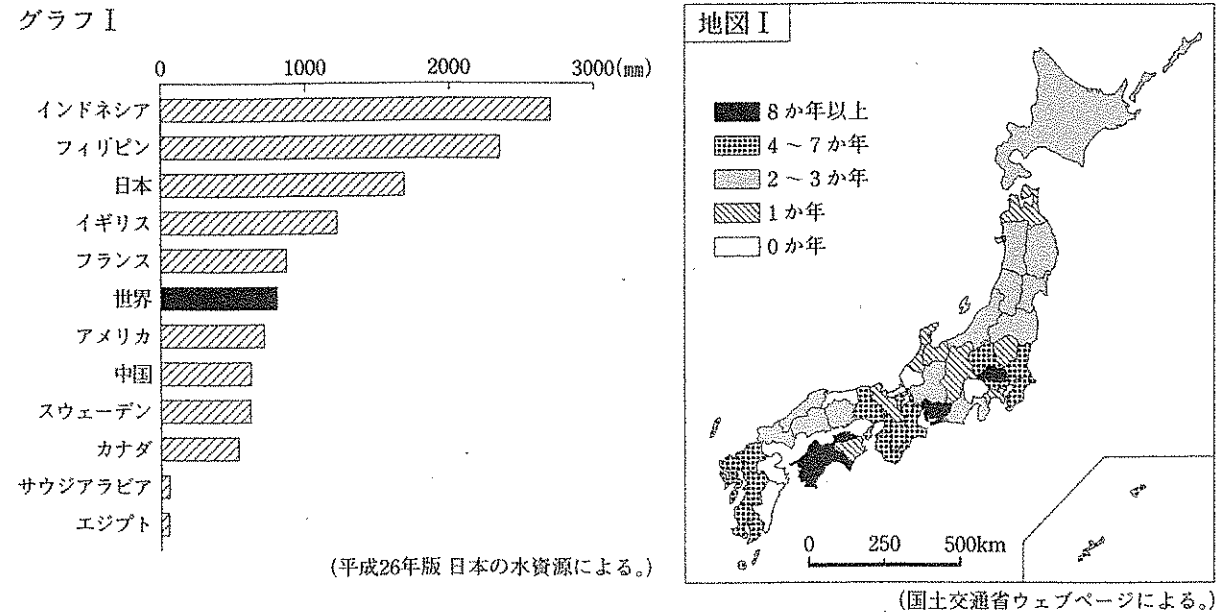
(10:40~11:30)

注 意

- 1 検査開始のチャイムがなるまで開いてはいけません。
- 2 問題用紙の1ページから13ページに、問題が1から4まであります。  
これとは別に解答用紙が1枚あります。
- 3 問題用紙と解答用紙に受検番号を書きなさい。
- 4 答えはすべて解答用紙に記入しなさい。

受検番号	第	番
------	---	---

1 あるクラスの社会科の授業で、「水と私たちの生活」というテーマで班ごとに課題を設定して解決する学習をしました。次のグラフⅠと地図Ⅰは、この授業のはじめに先生が提示したものです。グラフⅠは主な国の年平均降水量を、地図Ⅰは都道府県別に1984年（昭和59年）から2013年までの間で給水制限のあった年数を、それぞれ示しています。下の文章は、ある班がグラフⅠと地図Ⅰをもとに課題を設定しているときの会話の一部です。これを読んで、あとの1～5に答えなさい。



太郎さん：グラフⅠから、日本は世界平均よりも降水量が多いことが分かるから、比較的①降水量の多い国といえるんじゃないかな。

花子さん：そうね。でも、地図Ⅰから、日本の各地で給水制限が行われていることが分かるわね。日本は降水量が多い国なのに、どうして水不足が起こるのかしら？

次郎さん：そうだね。主に川から取水するよね。日本の川は取水しにくいのかな。僕は、②日本の川の特徴を調べてみるよ。

咲子さん：私は、水を使う量が多いからだと思うわ。私は、③水の使い方を調べてみるわ。

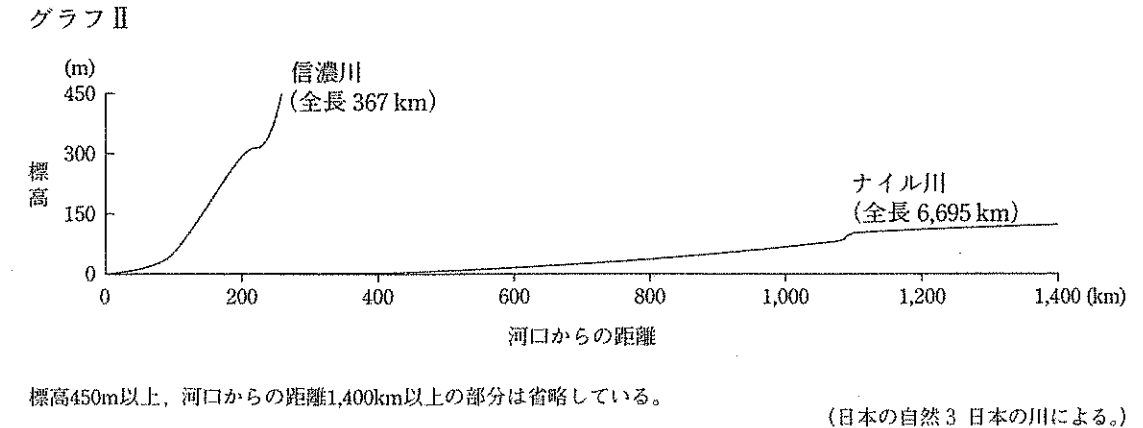
太郎さん：水不足が何度も起こっている地域は限られているから、僕は、④地域による降水量の違いを調べてみるよ。

1 下線部①に関して、この班では、グラフⅠ中で比較的降水量の多いインドネシア、フィリピン、日本の3か国の共通点を考えました。次のア～エのうち、この3か国の共通点として最も適切なものはどれですか。その記号を書きなさい。

ア 国土を赤道が通っている。      イ 偏西風の影響を受ける。

ウ 島国である。      エ 国土の大部分が温帯に属している。

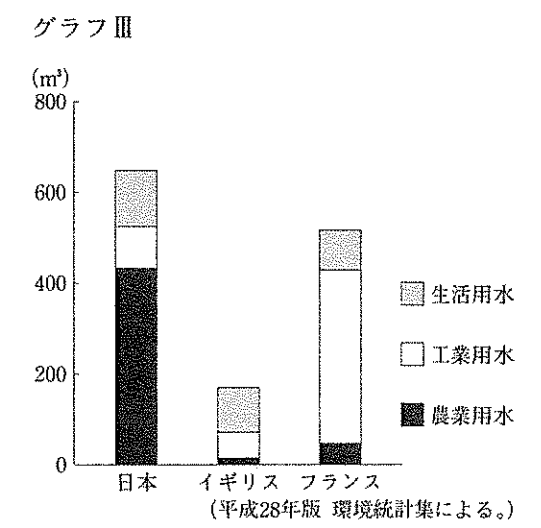
2 下線部②に関して、次郎さんは、日本の川の特徴を調べ、次のグラフⅡを見付けました。グラフⅡは信濃川とナイル川のそれぞれについて、河口からの距離と標高の関係を示しています。次郎さんは、このグラフⅡから分かったことを下のようにとまとめました。次郎さんのまとめはどのようなものだと考えられますか。次郎さんのまとめの中の  に当てはまるように、グラフⅡをもとに書きなさい。



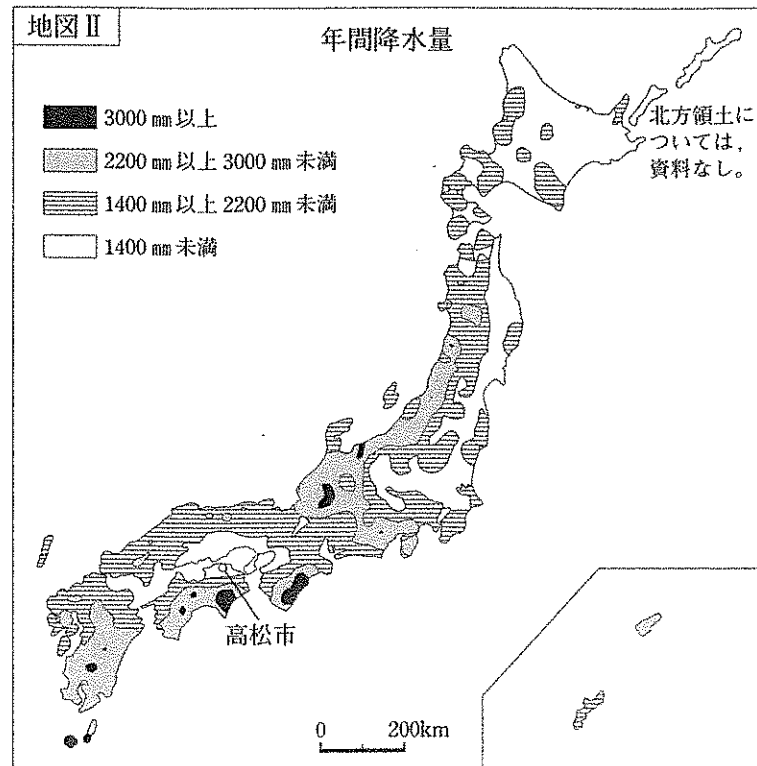
次郎さんのまとめ

信濃川は、ナイル川に比べて  ため、川の水が短時間で海まで流れてしまうと考えられる。

3 下線部③に関して、咲子さんは、グラフⅠ中の先進国のうち世界平均よりも降水量の多い日本、イギリス、フランスの3か国の水の使い方について調べ、右のグラフⅢを作成しました。グラフⅢは3か国それぞれの一人当たりの年間取水量とその用途別の内訳を示しています。日本の一人当たりの年間取水量がイギリスやフランスに比べて多いのはなぜだと考えられますか。その理由を、グラフⅢをもとに日本の農業の特色と関連付けて、簡潔に書きなさい。



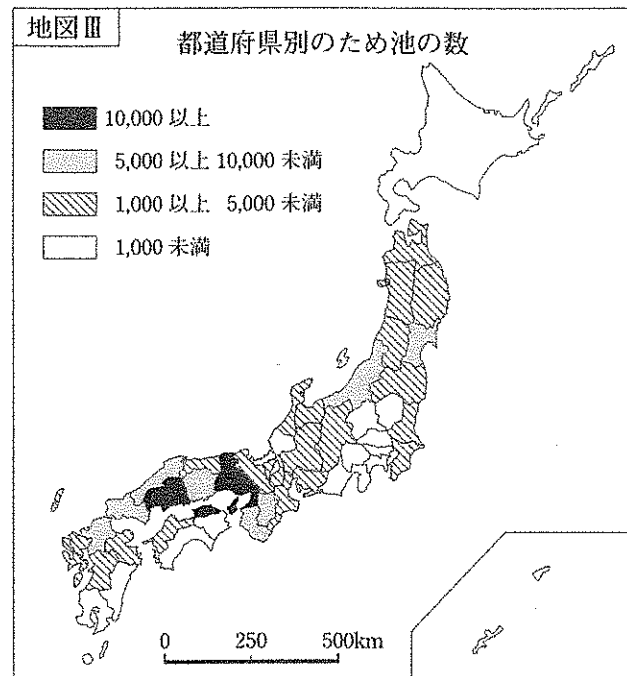
4 下線部 ④ に関して、太郎さんは、地域による降水量の違いを調べ、右の地図Ⅱを見付けました。これを見て、次の(1)・(2)に答えなさい。



(気象庁ウェブサイトによる。)

(1) 地図Ⅱ中の高松市は、年間降水量が1400mm未満であり、比較的降水量の少ない地域です。高松市の年間降水量が少ないのはなぜだと考えられますか。その理由を、「山地」と「季節風」の語を用いて簡潔に書きなさい。

(2) 太郎さんは、地図Ⅱ中の高松市の周辺を調べ、ため池が多いことに気づき、右の地図Ⅲを見付けました。太郎さんは、地図Ⅱと地図Ⅲを比較して疑問を出し、その疑問を考察してレポートにまとめることにしました。太郎さんは、まず地図Ⅱと地図Ⅲを比較して疑問を出しました。太郎さんが出した疑問はどのようなものだと考えられますか。地図Ⅱ・Ⅲをもとに、都道府県を一つ挙げて、「……のに、……のはなぜだろう。」の形式で書きなさい。



(農林水産省農村振興局資料による。)

5 この班では、「水と私たちの生活」について調べるうちに、洪水を防ぐための施設が都市部で設置されていることを知りました。次の資料は、都市部で洪水を防ぐために新たに設置された施設の見学会のちらしです。資料で示された施設を設置することが、都市部で洪水を防ぐことにつながるのはなぜだと考えられますか。その理由を、都市部の地表の特徴にふれて簡潔に書きなさい。

資料

雨水貯留施設の見学をしてみませんか？  
～野球場の地下にある巨大な空間～

あまり知られていませんが、当球場の地下には広大な雨水貯留施設が設置されています。普段は見ることのできない施設の中に入って、冒険気分を味わってみませんか？



雨水貯留施設内部の様子

実施日時 平成28年9月1日(木)

第1回 15時30分～ 第2回 16時30分～

(国土交通省中国地方整備局資料による。)

2 ある中学校の校区で古代の道路の跡が発見され、発掘調査が行われました。次の文章は、発掘調査をもとに博物館で開催された「交通と流通の歴史」の展示を見学した中学生と博物館の学芸員の会話の一部です。これを読んで、あとの1～4に答えなさい。

学芸員：今回、発見されたのは、7世紀から8世紀にかけて整備されたと考えられる古代の山陽道の一部です。①山陽道は九州と都を結ぶ重要な道路でした。

太郎さん：僕は、道路は建物などと違って、ずっと使われ続けるイメージがあったので、道路の跡が発見されるというのがとても意外でした。

学芸員：確かに昔から場所を変えずに使われ続けている道路もありますが、このあたりでは、中世以降の社会の変化とともに山陽道の一部が海に近いルートに変わっているの、古代の道路の場所は分からなくなってしまい、記録をもとに推定している状況です。

次郎さん：道路が海に近いルートに変わったのは、なぜですか？

学芸員：中世から近世にかけて、河口付近に②新たに町がつくられたり、③海上交通が盛んになったりしたことが原因であると考えられています。

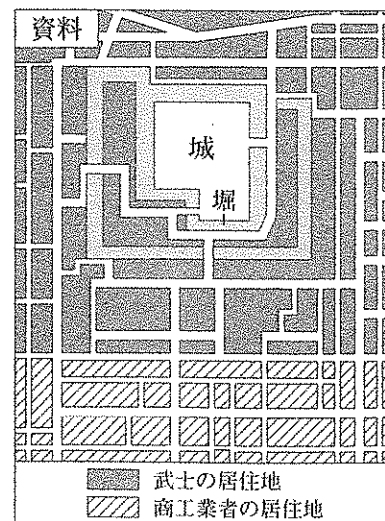
花子さん：道路の跡が見付かっただけだと思っていました。道路を通して、その時代に繁栄した場所や開発が進んだ場所なども分かるのですね。

学芸員：その通りです。④各時代の交通や流通の様子分かるように展示を工夫していますので、ゆっくり見学してください。

1 下線部①に関して、太郎さんたちは、博物館の展示から、山陽道が古代に重要な道路であったのは、九州に大宰府という役所が置かれていたことが理由の一つであることが分かりました。次のア～エのうち、古代における大宰府の主な役割として、最も適切なものはどれですか。その記号を書きなさい。

- ア 蝦夷に対する支配を進める。
- イ 朝廷を監視する。
- ウ 西日本の大名を監視する。
- エ 外交や防衛を行う。

2 下線部②に関して、右の資料は新たにつくられたある町の模式図の一部を示しています。次郎さんはこの町が発展したことに興味をもち、この町の特徴については資料をもとに、発展した理由についてはさらに調べ、あとのようにまとめました。次郎さんのまとめはどのようなものだと考えられますか。次郎さんのまとめの中の A と B に当てはまるように、適切な語句をそれぞれ書きなさい。



次郎さんのまとめ

〔特徴〕

○大名の城を守るために A などの工夫がみられる。

○武士と商工業者の居住地が分けられている。

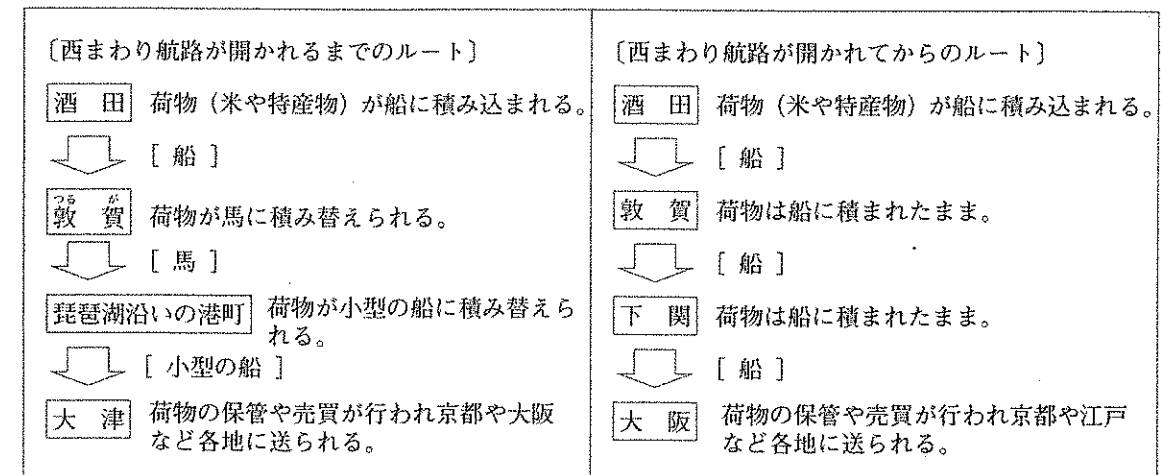
〔発展した理由〕

○領国内の武士がこの町に集められ、大名と有力な家臣が城内で領国のさまざまなことがらを決定したことなどから政治の中心となった。

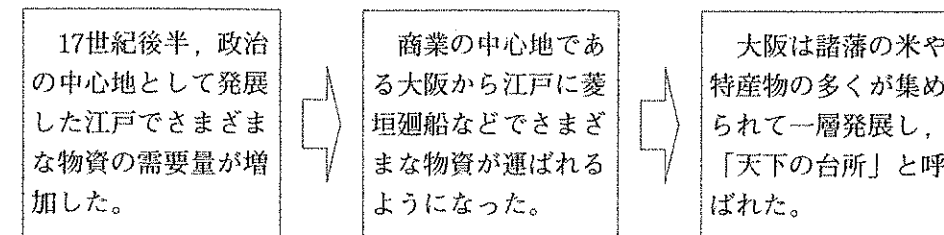
○ B を認める楽市・楽座の政策によって、各地からこの町に商工業者が集まり、商工業が活発になり経済の中心となった。

3 下線部③に関して、花子さんは、江戸時代の海上交通の展示を見学して、西まわり航路が開かれた17世紀後半、東北地方の日本海沿岸に位置する酒田という港町が繁栄したことに興味をもち、調べたことを次の図Ⅰと図Ⅱにまとめました。図Ⅰは西まわり航路が開かれるまでのルートと西まわり航路が開かれてからのルートを、図Ⅱは西まわり航路によって酒田からの物資が運ばれた大阪の発展について、それぞれまとめたものです。17世紀後半、酒田が以前よりも繁栄したのはなぜだと考えられますか。その理由を、図Ⅰ・Ⅱをもとに簡潔に書きなさい。

図Ⅰ



図Ⅱ



4 下線部 ④ に関して、太郎さんたちは、展示を見学して、交通の発達は産業の発展に関連していることが分かり、日本の産業が大きく発展した19世紀後半と20世紀後半の交通と産業の関係についてそれぞれ次のカードIとカードIIにまとめました。これを読んで、下の(1)・(2)に答えなさい。

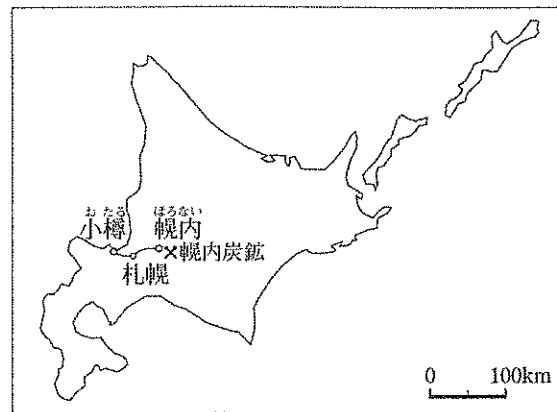
カードI

鉄道の建設は東京の新橋・横浜間に始まり、ついで大阪・神戸間で行われ、国内で3番目の鉄道の建設が北海道で1880年に始まりました。1880年代には鉄道網の発達とともに産業も発展し、紡績、製糸などの軽工業の分野から産業革命が始まりました。

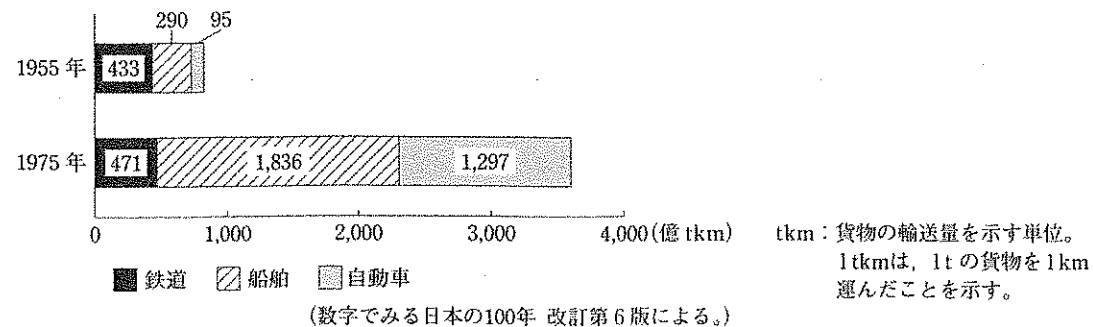
カードII

高度経済成長期になると鉄鋼などの重化学工業が発展し、国民の所得も増え家庭電化製品や自動車も普及し始めました。大量生産・大量消費が進み、さまざまな物資の輸送量が増大しました。東海道新幹線や高速道路が開通し、移動にかかる時間も短縮されました。

(1) カードIの下線部に関して、太郎さんたちは、国内で3番目の鉄道の建設が北海道で行われた理由を考えるために調べ、右の地図を見付けました。地図はこの鉄道の路線を示しています。この鉄道が国内で比較的早い時期に建設されたのはなぜだと考えられますか。その理由を、カードIと地図をもとに簡潔に書きなさい。



(2) 太郎さんたちは、高度経済成長により交通と流通がどのように変わったのかを調べ、次のグラフを作成しました。グラフは、1955年(昭和30年)と1975年の日本国内の鉄道、船舶、自動車による交通機関別の貨物輸送量をそれぞれ示しています。太郎さんたちはグラフから1955年に比べて1975年では自動車だけでなく、船舶の貨物輸送量も伸びていることに気付きました。高度経済成長により船舶の貨物輸送量が伸びたのはなぜだと考えられますか。その理由を、カードIIをもとに簡潔に書きなさい。



③ 2016年(平成28年)に第24回参議院議員選挙が実施されたあと、中学生の拓也さんは兄で大学生の直樹さんと新聞記事を見ながら話をしました。次の文章はそのときの会話の一部です。これを読んで、あとの1~4に答えなさい。

直樹さん: この新聞によると、今回の選挙の投票率は18歳と19歳を合わせて45.45%で全体よりも低かったんだね。全体の投票率は54.70%で、前回の①第23回参議院議員選挙よりは改善されたけれど、参議院議員選挙では、戦後4番目に低かったんだ。



(平成28年7月12日付 日本経済新聞による。)

拓也さん: 何だか残念だね。でも、選挙のたびに投票率が話題になるけれど、どうしてなの?

直樹さん: 選挙権は、国民が政治に参加する大切な権利の一つだからね。投票率が高い方が、より多くの国民の意思が政治に反映されるといえるからじゃないかな。②選挙では有権者がどの問題を重視して投票するかによって、当選者が変わってくることもあるよ。

拓也さん: そうか。③有権者は、選挙を通して政治に参加しているんだね。

直樹さん: そうだね。ところで、今回の選挙では選挙権年齢の引き下げのほかに、もう一つの改革が行われたんだけど、知っている?

拓也さん: 選挙区に関する事だったと思うけど、詳しくは分からないんだ。

直樹さん: ある問題を改善するために、④選挙区と議員定数の見直しが行われたんだよ。

1 下線部 ① について、この選挙が実施されたのは何年ですか。次のア~エのうちから選び、その記号を書きなさい。また、その記号が答えとなる理由を、「任期」の語を用いて簡潔に書きなさい。

- ア 2012年    イ 2013年    ウ 2014年    エ 2015年

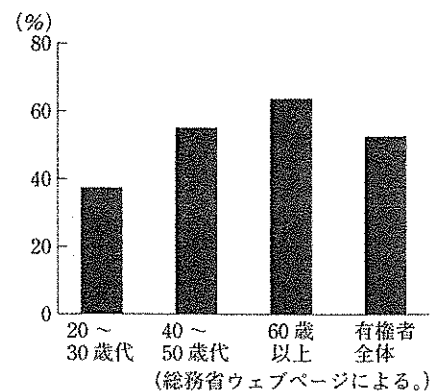
2 下線部 ② に関して、次の表は、有権者が投票の際にどのような問題を考慮したのかを調査したアンケートの結果の一部を示しています。これを見て、下の(1)・(2)に答えなさい。

投票の際に考慮した問題とその問題を考慮した有権者の割合 (%)

20～30歳代		40～50歳代		60歳以上		有権者全体	
考慮した問題	割合	考慮した問題	割合	考慮した問題	割合	考慮した問題	割合
景気対策	57.1	景気対策	61.0	年金	65.2	景気対策	55.9
子育て・教育	42.2	医療・介護	44.1	医療・介護	61.9	年金	48.6
消費税	37.5	年金	42.0	景気対策	52.2	医療・介護	48.4
医療・介護	32.8	消費税	40.7	消費税	36.0	消費税	38.0
年金	30.9	子育て・教育	30.8	子育て・教育	20.4	子育て・教育	29.0

(公益財団法人 明るい選挙推進協会ウェブサイトによる。)

(1) 拓也さんは、この調査を行った選挙における年代別の投票率を調べ、右のグラフを作成しました。次の会話は、表とグラフを見て拓也さんと直樹さんが話し合ったときのものです。会話の中で直樹さんは投票率の低い20～30歳代の意見が政治に反映されにくくなると考え、その理由を説明しました。直樹さんはどのように説明したと考えられますか。会話中の [ ] に当てはまるように、表をもとに書きなさい。



拓也さん：グラフから若い世代ほど投票率が低いことが分かるね。  
直樹さん：そうだね。20～30歳代の投票率が低いので、この年代の意見は政治に反映されにくくなるんじゃないかな。  
拓也さん：どうして、そういえるの？  
直樹さん：表を見ると、年代によって投票の際にどの問題をどの程度考慮したかに違いがあることが分かるよね。そのことから20～30歳代の意見が政治に反映されにくくなる理由を説明できると思うよ。  
拓也さん：具体的に説明してみてよ。  
直樹さん： [ ] ので、この年代の意見が政治に反映されにくくなると考えられるからだよ。

(2) 拓也さんは、選挙の公約について調べ、有権者全体で考慮した割合の高い景気対策と消費税の問題を政党の多くが示していたことに気付きました。そこで拓也さんは消費税率の引き上げは景気に影響を与えることがあるのではないかと考え、その理由をあとのように説明しました。拓也さんはどのように説明したと考えられますか。拓也さんの説明の中の [ ] に当てはまるように、「家計」と「企業」の語を用いて書きなさい。

拓也さんの説明

消費税率の引き上げは [ ] ことにつながるため、景気に影響を与えることがあるのではないかと考え、その理由をあとのように説明しました。

3 下線部 ③ に関して、国民が政治に参加する権利の一つとして国民投票があります。次のア～エのうち、国民投票の対象となることからはどれですか。その記号を書きなさい。

- ア 憲法の改正
- イ 内閣総理大臣の指名
- ウ 衆議院の解散
- エ 最高裁判所長官の指名

4 下線部 ④ に関して、第24回参議院議員選挙の前に公職選挙法が改正され、選挙区と議員定数の見直しが行われました。拓也さんは次の表をもとに、改正前と改正後の選挙区と議員定数について効率と公正の視点で直樹さんと話し合い、その結果を下のようにまとめました。拓也さんのまとめはどのようなものだと考えられますか。拓也さんのまとめの中の [ ] に当てはまるように、適切な語句を書きなさい。

	改正前		改正後	
	東京都選挙区	鳥取県選挙区	東京都選挙区	鳥取県・島根県選挙区
有権者数 (人)	10,839,609	483,416	11,194,225	1,071,873
改選議員定数 (人)	5	1	6	1
有権者数/改選議員定数 (人)	2,167,922	483,416	1,865,704	1,071,873
選挙区の面積 (km <sup>2</sup> )	2,189	3,507	2,191	10,215

(総務省ウェブサイト、日本国勢図会 2014/15年版・2016/17年版による。)

拓也さんのまとめ

[効率の視点から]

改正前と改正後と比較すると、改正前の方が効率的といえる。なぜなら、改正前の鳥取県選挙区の方が、改正後の鳥取県・島根県選挙区に比べて有権者数が少なく、選挙区の面積が狭いので、有権者に直接会って意見を訴えるなどの選挙運動が効率的にできるため。

[公正の視点から]

改正前と改正後と比較すると、改正後の方が公正な状態といえる。なぜなら、改正後の東京都選挙区と鳥取県・島根県選挙区の方が、改正前の東京都選挙区と鳥取県選挙区に比べて [ ] ので、一票の格差の問題の改善につながるため。

4 ある中学校の社会科の授業で、「日本の自然災害と私たちの生活」というテーマで班ごとにレポートを作成することになりました。次の表は、ある班がレポートを作成するために2011年（平成23年）から5年間に日本で起きた主な自然災害について調べ、まとめたものです。また、下の会話は表を見てこの班で話し合ったときのものです。これを読んで、あとの1～3に答えなさい。

年	自然災害の原因	主な被災地
平成23	東北地方太平洋沖地震 台風第12号 大雪等	東北地方、関東地方 関東地方、東海地方、近畿地方、中国地方、四国地方 北海道地方、東北地方、北陸地方
平成24	7月の大雨 大雪等	九州地方 北海道地方、東北地方、北陸地方
平成25	台風第26号及び第27号 大雪等	東日本から西日本にかけての太平洋側 東北地方、関東地方、新潟県、長野県、山梨県
平成26	8月の豪雨 御嶽山噴火 大雪等	広島県 長野県、岐阜県 北海道地方、東北地方、北陸地方、四国地方
平成27	9月の豪雨	東北地方、関東地方

(平成28年版 防災白書による。)

花子さん：自然災害は日本各地で起きているのね。本当に他人事じゃないわね。

咲子さん：そうね。①平成23年に起きた東北地方太平洋沖地震による東日本大震災など、とても大きな被害をもたらすこともあるから、私たちは、自然災害を防ぐことについて考える必要があるわね。

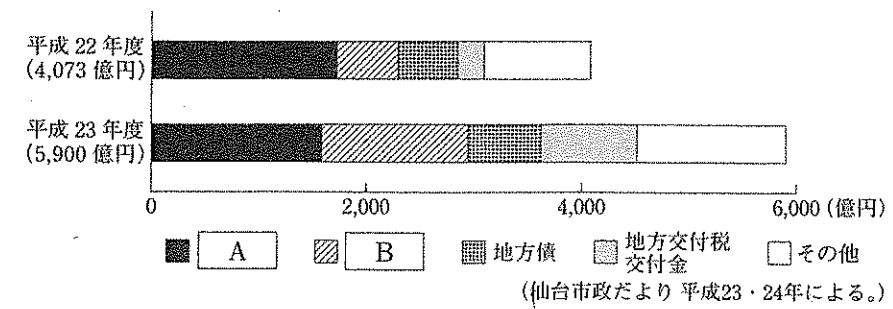
太郎さん：防災について考える場合、地域ごとに起こりやすい自然災害は違うから、地域の特徴を知ることが大切なんじゃないかな。②気候や地形などの特徴と自然災害の関係を知っておくことが、どう行動すればよいかにつながると思うんだ。

次郎さん：地域の特徴を知ることが大切だね。そのことによって、自然災害を防止したり、小さくしたりすることはできるんじゃないかな。

花子さん：そうね。③自然災害に備える工夫はそれぞれの地域で昔から行われてきたわね。

1 下線部①に関して、この班では、東日本大震災の復興支援について調べ、あとのグラフを見付け、グラフをもとに復興支援の様子について話し合いました。あとの会話はそのときのものです。会話中とグラフ中の A と B にはそれぞれ同じ語が当てはまります。A ・ B に当てはまる語は、それぞれ何ですか。その語を書きなさい。

仙台市における一般会計の歳入とその内訳

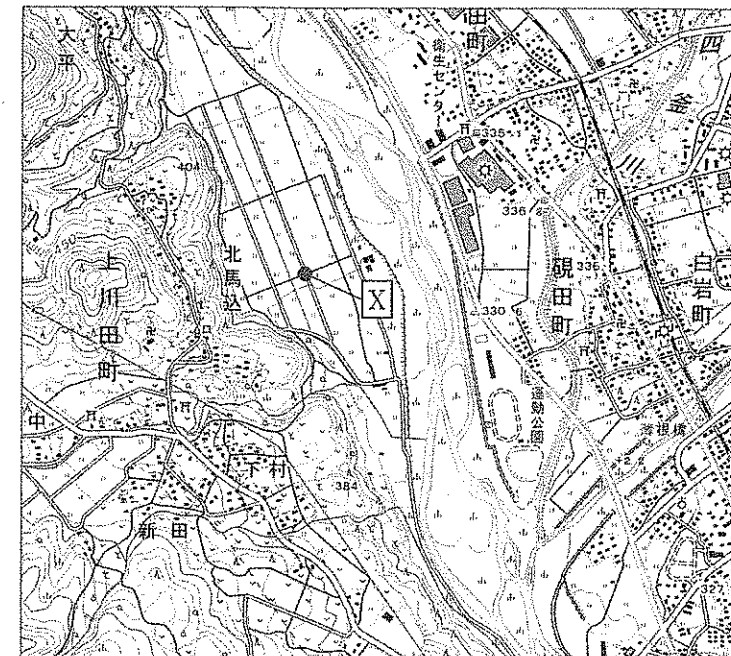


花子さん：グラフを見ると、平成23年度は平成22年度に比べて、A が減っているわね。  
太郎さん：そうだね。自主財源である A が減っているのは震災による被害で個人や企業の収入が減ったためと考えられるね。

咲子さん：その一方で、国からの B や地方交付税交付金は増えているわね。

次郎さん：B や地方交付税交付金が増えたのは、被害を受けた道路や橋などの公共施設の復旧や復興公営住宅の整備など被災地の復興を進めるためと考えられるね。

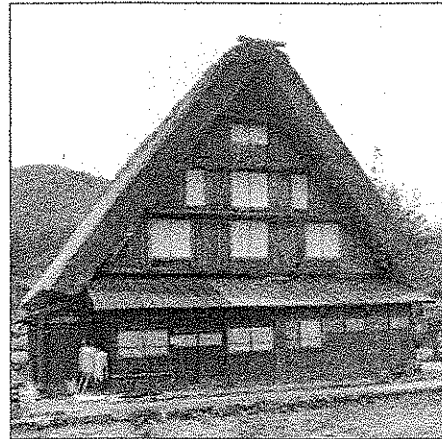
2 下線部②に関して、この班では、自然災害が起こりやすい地形の特徴を調べるために、ハザードマップで洪水の被害が想定されている地域を、地形図で確認しました。次の地形図はそのときに使ったものの一部です。地形図中の地点 X は、洪水の被害が想定されている地域の中にあります。地点 X で洪水の被害が想定されているのはなぜだと考えられますか。その理由を、地形図をもとに簡潔に書きなさい。



(国土地理院 2万5千分の1地形図「沼田」平成25年発行による。)

3 下線部 ③ に関して、次の(1)・(2)に答えなさい。

(1) この班では、自然災害に備える工夫について調べ、右の写真のように岐阜県の伝統的な住居では大雪による被害から住居を守る工夫をしていることが分かりました。この住居では大雪によるどのような被害から住居を守るために、どのような工夫をしていると考えられますか。写真をもとに具体的に書きなさい。



(2) この班では、江戸時代の自然災害について調べ、次のカードⅠとカードⅡにまとめました。カードⅠは江戸時代に岡山藩で洪水が起こるようになった背景を、カードⅡは岡山藩の学者が説いた洪水防止の考え方をそれぞれまとめたものです。江戸時代の岡山藩は、カードⅠに示された焼き物や塩の生産と洪水の防止とを両立させるために、ある取り組みを行いました。岡山藩が行った取り組みは、どのようなものだと考えられますか。カードⅠ・Ⅱをもとに簡潔に書きなさい。

カードⅠ

江戸時代には、諸藩では収入を増やすために産業を奨励し、陶磁器などの焼き物や塩の生産などの産業が発達した。焼き物や塩の生産には、大量の薪や炭が必要であり、各地で山林の乱伐が進んだ。岡山藩でも焼き物や塩の生産などの産業奨励政策にともなって山林の伐採が進み、その結果荒廃した山林を流れる川の下流で洪水が起こるようになった。

カードⅡ

江戸時代に岡山藩の学者熊沢蕃山<sup>ほんざん</sup>は、「草や木が豊富な山は、土砂を川に流出させず大雨が降っても水を吸収し、吸収された水が十日も二十日もかけて川に流れ出るので、洪水の心配が少ない。」と説いた。